

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	個別サポート教室ころん		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 11日		~ R8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28家庭	(回答者数) 25家庭
○従業者評価実施期間	R8年 1月 16日		~ R8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を継続することで、安心して過ごせる居場所として機能しており、利用継続率や保護者満足度も高い水準で推移していること。	毎回の支援のあと時間が許す限りご家庭との連携をとることで、子どもの日々の成長に寄り添い支援に生かすことができている。	ご家庭と事業所で日々連携をとるように継続していくが、都合により連携を毎度とることができていないご家庭との連携を密になるように展開していく。
2	ICTを活用することで、視覚的理解が促進され、集中時間の向上や学習意欲の維持につながっていること。	発達検査に沿ったアプリの利用やゲーム性をもったビジョントレーニングを活用する。	時代によって、子どもたちが取り組みやすいものは変化していくので、子どもたちが楽しく取り組めるよう配慮していく。
3	資格試験などを取得し、社会に出るための準備を応援しているため、将来の就労や自己効力感の向上につながっていること。	情報処理検定の認定会場であるため、慣れた場所での試験や日々の練習に寄り添うことができている。	現状は、文書作成などの資格を応援することに徹しているが、子どもの成長によって表計算なども対応し、子どもの活躍の幅を広げてあげることができるように展開していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	作業療法士・言語聴覚士が不在であること。	必要時は専門機関へ助言依頼体制を整えている	事業所として、金銭面での雇用の課題をもつので、今すぐに改善できるものではないが考えていく。
2	事業所としての取り組みの周知徹底。	アンケートにより、災害時の対策に取り組んでいるにもかかわらず周知できていないことを学んだ。 保護者向け資料配布等の検討をしていく。	SNSやポスター掲示によって周知徹底を試みることにする。
3	地域との交流。	現状、個別で支援しているため地域との交流はご家庭からの聞き取りで需要がなさそうであったので取り組んでこなかった。	地域との交流で需要があり、安全面に考慮できるものを試行していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	個別サポート教室こころん				公表日	R8年 2月 28日		回収数	25
		割合 (%)				利用児童数	33名 (28家庭)		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92.0	4.0	0.0	4.0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	92.0	0.0	0.0	8.0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88.0	8.0	0.0	4.0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96.0	4.0	0.0	0.0			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・特性や性格を理解して支援内容を工夫してくれている。 ・本人の気持ちを尊重し、選択肢を与えていただけてありがたいです。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92.0	8.0	0.0	0.0			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・詳しくわかりやすいです。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96.0	4.0	0.0	0.0			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96.0	0.0	0.0	4.0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96.0	4.0	0.0	0.0	・飽きないように色々と工夫していただいています。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8.0	16.0	20.0	56.0	・特に機会はないですが、必要性も感じていません。 ・地域の他の子どもとの交流機会は別にあるため求めていない。 ・イベントで他のお友達との交流があるのがいいです。	・個別でサポートをしていく事業所がありますが、今後検討します。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0	0.0	0.0	0.0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0	0.0	0.0	0.0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	48.0	12.0	8.0	32.0			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	96.0	4.0	0.0	0.0	・提案やアドバイスなどもいただけてありがたいです。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92.0	8.0	0.0	0.0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16.0	16.0	20.0	48.0	・色々なイベントに参加させていただき、毎回楽しかったと喜んでいました。兄弟も参加できるイベントが増えると嬉しいです。	・児童の年齢が多岐に渡るのでご家族のための活動が難しい部分がありますが、検討しています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	88.0	0.0	0.0	12.0			
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・LINEなどですぐに関わったときに連絡を取り合えるのがいいと思います。			
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	84.0	4.0	0.0	12.0	・連絡等丁寧で分かりやすいです。	・今後もSNS (LINE等) を用いて、行事予定をお知らせしていきます。 ・自己評価に関しては、今年度も掲載しますのでご覧ください。		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96.0	0.0	0.0	4.0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	60.0	8.0	0.0	32.0	・何かあったときにすぐ連絡を取れるようにしていただけたらと思います。	・マニュアル等すべてそろっていますが、ご家族への周知ができていないので、今後対応を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	44.0	12.0	4.0	40.0		・事業所での災害訓練はおこなっていますが、個別で過ごす事業所のため基本は職員のみで訓練をしています。今後、児童も交えた訓練を検討しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	76.0	12.0	0.0	12.0		・今後は周知徹底できるよう検討します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	76.0	8.0	0.0	16.0		・契約の際にご説明していますが、大げかと判断されたときはまずは119番通報し、ご家族の緊急連絡先へご連絡します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・子どものことを考えて色々していただき、安心感があります。 ・先生たちにとでもうれしそうに話をしている様子が見られます。 ・楽しみ＝安心だと感じています。	・今後も子どもたちが安心して過ごすことができる場所を、継続できるよう進めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	92.0	8.0	0.0	0.0	・毎回行くのを楽しみにしています。好きなことやらせていただいたりありがたいです。 ・とても楽しみにしており、毎日でも行きたいと言っています。 ・自ら進んで通所しています。本人にとって心の安定場所になっています。 ・日々の支援やイベントを楽しんでいます。	・ご家族や本人の要望からさまざまな活動を一緒にさせていただけることは、私たちも楽しむことができいております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・本人が取り組みやすいように課題を工夫してくれており、学習に取り組むモチベーションが向上した。 ・可能性を広げていただいております。	・子どもたちが少しでも楽しんでもらえるようサポートできているよう職員一同喜んでいます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		割合 (%)		公表日	
個別サポート教室こころん				R8年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	・児童の様子に配慮したスペース配置がされている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	100		・今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83	17		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	・児童にあわせて柔軟に対応している。 ・児童によっては、あえて固定している場合もある。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	・イベントに参加してもらい、集団の活動に触れてもらっている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	・選択させる機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83	17		・他事業所等との連携は、担当者が対応するよう努めている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83	17		・障害福祉と連携している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83	17	・学校との共有はしていないが、児童や保護者からの聞き取りから把握している。 ・必要な児童の情報共有はしている。	・学校との共有が必要な児童とは連携をとっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50	50		・ご家族を経由して、連携をとっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	100		・卒業児童がいなかったため、今後対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17	83		・検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	100		・検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0	・管理者が参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	・毎支援できる限り情報共有をおこなっている。 ・子どもの様子を伝えあうことで、ご家族と協力して子供と向き合うことができている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50	50		・SNSを利用して、情報発信はしているが研修の機会については今後検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	67	33	・きょうだい同士での交流の機軸はイベント開催時などで設けている。	・兄弟の参加するイベントはあるが、保護者メインのものは今後検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100	0	・SNSで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33	67	・地域の住民と挨拶等は交わしているが、招いたことはない。	・検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	83	17		・契約前に聞き取りをし確認している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50	50	・食物の提供はしていない。 ・食事をすることはないが、アレルギー等は把握している。	・事前に聞き取りをしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83	17	・日々安全に過ごせるように、話し合いはなされている。	・事業所内で共有し、ヒヤリハット集も用意している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0		